



令和4年度 ふるさと教育推進事業

浜田市内小学校・中学校

ふるさと教育取組事例集

小学校 16校

中学校 9校



浜田市教育委員会 学校教育課

ふるさと教育 取組事例（小学校）

| 学校 | 学年 | 教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) | 頁 |
|------|-----|----------------|--------------------------|--|--------|
| 原井小 | 4 | 総合 | 浜田の海の魅力を知ろう | 渚の交番 be | 1 |
| 雲雀丘小 | 3・4 | 総合 | 「知ろう！学ぼう！浜田の海」 | 渚の交番 be | 2 |
| 松原小 | 全校 | 書写 | 書き初め会 | 書写に堪能な地域の方 | 3 |
| 石見小 | 3 | 総合 | 浜田のむかしを調べよう | 浜田城跡・浜田一中体育館等 | 4 |
| 美川小 | 2 | 生活 | 大きく育てわたしのやさい | 保護者・地域ボランティア | 5 |
| 周布小 | 6 | 総合 | 「夢に向かって！」 | 地域講師 | 6 |
| 長浜小 | 4 | 総合 | 環境について学習しよう | ひと | 7 |
| 国府小 | 3 | 総合 | 国府はだれにとってもくらしやすいか | 国府まちづくりセンター 浜田市防災安全課（避難所体験） 地域の防災士 高齢者サークル | 8 9 |
| 三階小 | 4 | 総合 | 石州和紙について調べよう | 石州和紙会館 | 10 |
| 雲城小 | 5 | 総合 | 小国田んぼの米作り | おぐにまちづくりセンター てごの会 | 11 |
| 今福小 | 2 | 生活 | ふるさとの味「ほし大根」作り | 美又まちづくりセンター 地域講師 | 12 |
| 波佐小 | 全校 | 生活 特活 総合 | 新米を食べよう ～田植えからしめ飾りまで～ | 地域、学校田 米作り（炊飯等） | 13 |
| 旭小 | 5 | 総合 | 米作り体験 | 今市まちづくりセンター 米作り | 14 |
| 弥栄小 | 1・2 | 生活 | もっと秋をさがしにいこう | まちづくりセンタースタッフ 地域の自然、野外散策 | 15 |
| 三隅小 | 4 | 社会 | 地域の伝統・文化と先人たち | 浜田商業高校郷土芸能部 岡崎社中（三隅町） | 16 |
| 岡見小 | 2 | 生活 | とびだせまちへ | 地域の方 わくわくマーケット（元JA） | 17 |

※ 総合：総合的な学習の時間

ふるさと教育 取組事例（中学校）

| 学校 | 学年 | 教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) | 頁 |
|------|-----|----------|----------------------------|--|----|
| 第一中 | 1 | 総合 | 小学生との交流を深めよう ～放課後遊び隊～ | 浜田一中校区 地域コーディネーター | 18 |
| 第二中 | 1 | 総合 | 「私たちが住んでいる町 浜田を 知ろう」 | 市役所の職員 まちづくりセンター | 19 |
| 第三中 | 3 | 総合 | SUN中トーク | まちづくりセンター(長浜・周布・ 大麻) 地域ボランティアの方 | 20 |
| 第四中 | 1・2 | 総合 | 福祉体験学習 | 石見福祉会の各施設、職員 | 21 |
| 浜田東中 | 1 | 総合 | 「ふるさと浜田の水産業」 | 浜田市内水産業関連事業所事業 (10事業所) 国府まちづくりセンター 浜田まちづくりセンター | 22 |
| 金城中 | 1 | 総合 | 金城を元気にするプロジェクト | 雲城まちづくりセンター 甚左衛門ウォーキング いわみケーブルビジョン | 23 |
| 旭中 | 1 | 総合 | 旭の再発見ツアー 旭の人にインタビューをしよう | 各地域まちづくりセンター 地域の生産者 旭分室 | 24 |
| 弥栄中 | 2 | 総合 | 弥栄の魅力発信 | 弥栄の自然, 特産品, 神楽社中, 弥栄 支所, 杵束まちづくりセンター, 安城 まちづくりセンター | 25 |
| 三隅中 | 1 | 理科 家庭 | 動物の分類 (魚料理にチャレンジしよう) | 浜田水産振興課、「山源」 | 26 |

※ 総合：総合的な学習の時間

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|-----|---------------|---|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立原井小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 4 | 総合的な学習 の時間 | 浜田の海の魅力を知ろう | 渚の交番be |
| ねらい | | ふるさと浜田の海について、知っていることや知りたいこと、やってみたいことをまとめ、調べ活動や体験活動を通して、浜田の海に愛着をもち、大切にしていこうとする気持ちを育てる。 | |

1 取組の概要

近くにある浜田の海について、知っていることや知りたいこと、やってみたいことを話し合った後、インターネットや書籍で調べ活動を行った。調べたことをまとめ、発表する中で、実際にやってみたいことについて話し合った。海遊びや釣り体験等が出される中で、環境問題について発表した児童から、海岸清掃についても提案があった。浜田の海を楽しむだけでなく、守っていこうということになり、活動する海岸をきれいにした後、海での活動を行う計画を立てた。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

子どもたちの身近にある海について、インターネットや書籍からの知識だけでなく、渚の交番beの方の説明を聞いたり、実際に体験したりすることで、浜田の海の魅力を実感し、ずっと守っていきたいという気持ちを高めたいと考えた。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身についたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

調べたり体験したりする中で、ふるさと浜田の海の魅力に気づくことができ、「もっと浜田の海を楽しみたい」「きれいな海をずっと守っていきたい」という気持ちをもつことができた。

4 課題や今後の展望

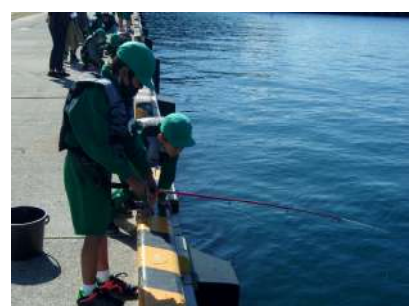
釣った魚を調理し、自分たちで作った藻塩をかけて食べたりすることで、より浜田の海を楽しむことができると考える。校区内にある水産高等学校や水産試験場と連携することで、より充実した活動が考えられる。



(海岸清掃)



(藻塩作り)



(釣り)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| 学校名 | 浜田市立雲雀丘小学校 | | |
|-----|--|---|------------------------|
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 3・4 | 総合的な学習の時間 | 「知ろう！学ぼう！浜田の海」 | 渚の交番 be |
| | ねらい | ふるさと浜田の海でとれる魚や海の環境課題について調べたり、実際に体験したりすることを通して、浜田の海に対する愛着や大切にしていこうという気持ちを育てる。 | |
| 1 | <p>取組の概要</p> <p>家庭での海水浴や釣りの経験、低学年のときの「お魚市場」の見学、前年度のどぐる給食等の経験があり、子どもたちは身近にある海について、また浜田の海でとれる海産物について、ポジティブなイメージをもっていた。子どもたちは「もっと浜田の海のおよさを知ってもらいたい。」という願いをもち、自分でテーマを設定して調べ学習に取り組んだ。</p> <p>また、渚の交番 be に協力していただき、魚釣り体験、藻塩作り体験を行った。釣り体験では釣り場のゴミ拾いも行い、子どもたちは新たに環境問題にも興味をもった。「浜田のすばらしい海を守りたい」という気持ちから、実際に自分たちはどのようなことができるかを考えた。学習して気付いたことや分かったことをまとめ、学習成果発表として保護者や全校児童に発表した。</p> |   | |
| 2 | <p>ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>子どもたちにとって身近にある海だが、経験や知識には差があり、共通の体験をすることが必要であると考えた。そこで、海の楽しさやよさについて子どもたちが実感できるよう、体験活動を取り入れた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>浜田の海について調べる際、自分たちで観点を絞り、浜田の海のおすすめスポットやどんちっち三魚について、海ゴミの環境問題等について調べた。インターネットや市の観光パンフレットを活用し情報を収集することで情報活用能力の育成を目指した。</p> | | |
| 3 | <p>児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>調べ活動や体験活動を通して、ふるさとの海のおよさやすばらしさに気付くことができ、「もっと浜田の海に親しみたい。」「美しい海をこれからも大切にしていきたい。」という気持ちをもつことにつながった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>調べたことや体験したことをどのようにして伝えるかについて、相手や場によって使い分けることができた。劇にして発表すること、リーフレットやプレゼンソフトを使ってまとめること等を経験し、情報活用能力が身についた。</p> |   | |
| 4 | <p>課題や今後の展望</p> <p>地域のよさを知り、自分にどのようなことができるかを考えることを今後もあらゆる観点から継続していくことによって、地域の課題について自ら関心をもつことができるようにしていきたい。</p> | | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|---|----------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立松原小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 全校 | 書写 | 書き初め会 | 書写に堪能な地域の方 |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・書写に堪能な地域の方に来ていただき、実際に書き方を指導していただきことで、児童が目標をもち、意欲的に取り組むことができる。 ・既習事項を生かしながら丁寧に作品作りをしようとする態度を育てる。 ・作品のよさに関心をもち、干渉しようという態度を育てる。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写に堪能な地域の方が、実際に書いてくださる様子を見る。 ・字を書く時のポイントを教えていただく。 ・児童が書いた字を評価してもらい、アドバイスを受け次回に活かしていく。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に教えていただくことで、書写をより身近に感じ、自ら学びたいという気持ちをもてるようにするため。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の書いた字をよく見たり、アドバイスをもらったりすることで、自ら課題や目標をもち解決のために努力しようという態度を育みたい。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目の前でお手本を書いていただくことで、書写をより身近に感じ、自分もこんな風に書きたいという思いをもって、積極的に学ぼうとする姿が見られた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教えていただいたポイントを意識し、自らの課題に気を付けながら前向きに取り組もうとする姿が見られた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して指導いただけるよう、打ち合わせ等を十分に行っていきたい。書き初め会に限らず、日々の学習の中でも機会を見つけ、ご指導していただきたい。 | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|---------------|--------------------------------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立石見小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 3 | 総合的な学習 の時間 | 浜田のむかしを調べよう | 浜田城跡・浜田一中体育館等 |
| ねらい | | ○身近な歴史的建造物に興味をもち、調べて発表しようとする意欲をもたせる。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>○浜田城跡、浜田一中や浜田高校の体育館等を見学し、その場所につわる話を聞かせていただくことで、自分の身の回りには歴史的な建築遺産があることを知る。その中で、興味をもったことを中心に、調べたことをパンフレットにまとめて紹介する。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○浜田観光ボランティアの方や社会教育主事の方にお話を聞かせていただくことで、その歴史的価値をより感じられるようにした。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○大人の方のお話を、メモを取りながら聞き、必要な情報を選んで表現する力を身につけさせた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○実際に城跡や建物を見学したことで、どの児童も意欲的に取り組んでいた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○自分が書いたメモや写真やタブレット等から、自分でトピックを考え、まとめることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○どの児童も意欲的ではあったが、歴史の意味を理解することが難しい児童もいた。観光ボランティアの方との打ち合わせを密にし、簡単な説明にできる所はお願いしていきたい。</p> | | | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|-----|---|--------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立美川小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 2 | 生活科 | 大きく育てわたしのやさい | 保護者・地域ボランティア |
| ねらい | 野菜作り・収穫の体験や野菜について調べる学習，地域の方々との関わりを通して，ふるさとへの愛着を深めることができる。 | | |

1 取組の概要

児童が育てたい夏野菜を決め，学校の畑で地域の方と一緒に育てた。苗植え，支柱立てを手伝ってもらった。苗植えの際には，地域ボランティアの方に育て方や世話の仕方などを教えてもらい，一緒に苗植えを行った。その後も，地域ボランティアの方に畑の様子を気にかけて頂き，すくすくとたくさん夏野菜が育った。成長した立派な野菜は収穫し，お家に持ち帰り美味しく食べた。



2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。



(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)
美川の自然の豊かさや人々の温かさ，地域ボランティアの方のふるさとに対する思いを感じることで，ふるさとに対する愛着を深める。

(学力育成の視点から)

思考力や表現力を高めるために，観察して記録したことを，付箋に書き出し，マトリックス表にまとめた。班で意見を出し合い，それぞれの野菜の色・形・大きさ・におい・手ざわり等についてまとめた。また，タブレットを使って野菜の様子を写真に撮り，成長の様子を記録した。



3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

地域ボランティアの方と苗植えをしたり野菜の成長を見守ったりしていくことで，野菜作りの楽しさだけでなく交流することの楽しさを実感した。美川で育てた野菜はとても美味しいことに気づき，これからも続けていきたいという気持ちをもつことができた。

(学力育成の視点から)

野菜作りを通して，一人一人が野菜をよく観察し，触ったり，見たり，嗅いだりしてわかったこと，野菜について調べたことをレポートにまとめた。



4 課題や今後の展望

苗植えから支柱立て，野菜の成長の見守りと長期間を通して，地域ボランティアの方にお世話になっている。年間計画に基づいて，今後も継続的に活動をしていきたい。

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|---|-----------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立周布小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 6 | 総合 | 「夢に向かって！」 | 地域講師 |
| ねらい | ①将来の夢や希望を持ち、それらの実現を目指して努力することができるようにする。 ②ふるさとの新しい魅力に気付くことができる。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>○「働く」とは何かを考え、今の自分の考えをまとめる。 ○家族に対して仕事インタビューを行う。 ○地域講師をお招きし、仕事内容や働くことについてお話を聞く。 【柿田面工房・細川神楽衣裳店・フルーツジャムパレット・Gallery and Café FUN】 ○将来の夢のことや「働く」ことに対する学んだことを友達に対してプレゼンを行う。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○ふるさとの良さに改めて気付くことができるように、ふるさとの伝統工芸品を作る仕事や地域に根差した仕事を中心に講師を依頼した。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○児童の学ぶ意欲を高めたり、働くことに対する理解を深めたりするために、実際に話を聞いたり、質問をしたりする活動を設定した。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○活動の振り返りや感謝の手紙には、多くの児童が学んだことだけでなく、地域の方への感謝の言葉を綴っていた。また、大好きな神楽を残していくためには、神楽面や衣装を作る仕事など伝統文化に関わる仕事を大切にしていこうことの重要性に気付いていた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○話を聞いて学んだこと、図書資料やインターネットで調べたことなど、伝えたいことに合わせて情報を取捨選択しながらプレゼンテーションにまとめていた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○今年度の取り組みをもとに、地域の教育資源である(ひと・もの・こと)をもっと効果的に活用する方法を考え、よりよい児童の学びにつながるようにしていく必要がある。</p> | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

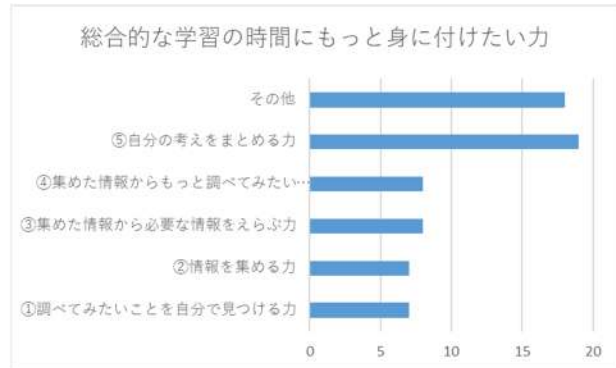
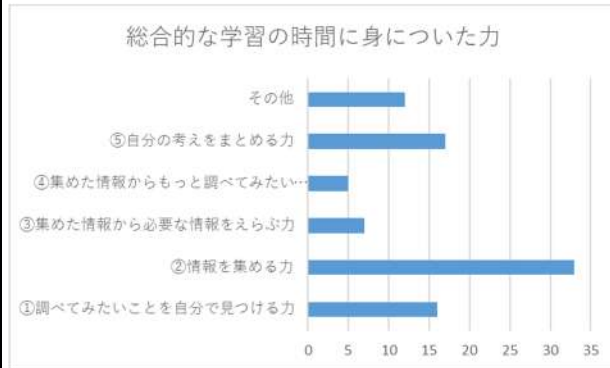
| | | | |
|--|---|-------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立長浜小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 4 | 総合 | 環境について学習しよう | ひと |
| ねらい | 海岸の清掃活動をしている人の取り組みや思いを知って環境を大切にしようと思う気持ちを高める。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱田海岸の清掃活動をボランティアの方と一緒にする。 ・清掃活動をされている方のお話を聞く（清掃している思い、願いなど） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの住む長浜には、海岸をきれいにしようとして自主的に清掃されている人がいることを知り、環境を大切にしていこうという態度を育てる。 ・地域の方との交流を深め、質問したり聞いてみたりすることで、気を付けていることを聞く。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうなったらゴミが海岸に流れ着くのかを考える。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とのコミュニケーションをとることで、地域の人を知ることができた。 ・次に海岸に来る時は率先してゴミを拾ったり棄てないようにしたりしようとする意欲がもてた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終えるゴミと燃えないゴミの見分け方を学んだ。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材を確保するためにも、まちづくりセンターと学校との間の事前うちわ替を一ヶ月半前位にできればよかった。 | | | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|--|-------------------|---|
| 学校名 | 浜田市立国府小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 3 | 総合的な学習 | 国府はだれにとってもくらしやすいか | 国府まちづくりセンター 浜田市防災安全課（避難所体験） 地域の防災士 高齢者サークル |
| ねらい | 探究的な学習における問題解決的な活動を繰り返すことで、国府のまちについて知り、自分にできることを発信するための技能を身に付ける。 探究的な学習の学び方の素地を養う | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>① 「国府は誰にとってもくらしやすいか」を学年共通のテーマとし、『誰にとって』『住みやすいとは』の部分子どもに投げかけ、思考ツール等を使いながら一人一人が課題を設定する。</p> <p>② 地域の方へ手紙を書いたりオンラインでインタビューをさせてもらったりしながら情報を蓄積していく。</p> <p>③ 情報カードをナンバリングし、課題解決のために必要な情報を取捨選択したり、新たな課題を設定したりする。</p> <p>④ まちづくりセンターの方を招待してテーマについてのシンポジウムを行う。</p> <p>⑤ 学年共通のテーマに「災害時には…」という視点を加え、上記①～③の過程を繰り返す。</p> <p>⑥ 保護者を招待して学習成果発表会を行う。</p> <p>⑦ これまでの学習をふり返って、「自分にできること」を考える。</p> <p>⑧ ⑦で考えたことをお世話になった地域の方を招待して発表する。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p>○手紙、オンラインインタビュー、避難所体験等、多様な学習活動を組み合わせることで、自分たちのまちに住む人、支える人がいることを知る。</p> <p>○発表会を見てもらう相手として、上級生、保護者、地域の方をタイミングと目的に合わせて設定する。3学期には、現実的なアドバイスをもらうことで、学習の質を高めるために地域の方を選ぶ。</p> <p style="margin-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <p>○課題設定の場面では、リアルな体験活動（避難所体験等）を経験することで、一人一人が自分の問題をつくることができた。</p> <p>○消防署見学（社会科）やアンケート集計（算数科）、招待状の作成（国語科）などの学習を通して、総合の学習の広がりや深まりだけでなく、各教科の有用性を感じることができた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p style="margin-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p>○地域の方と繰り返し関わる中で、相手の名前を覚えたり、手紙を書いたりする活動を通じてたくさんの方に自分のくらしを支えてもらっていることに気付くことができた。</p> <p style="margin-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> | | | |

ふりかえりの記述からみた、「身についた力」「もっとつけたい力」調べ



○たくさんの地域の方に協力してもらいながら、直接的・間接的に学習を進めたことで、情報を集める力の伸びを感じている子どもが多かった。

○「自分の考えをまとめる力」を高めたいと考える子どもが多かったことから、学習の成果を発表する相手を段階的に変える（地域の方→上級生→保護者→地域の方）ことで、「もっと伝えたい」「もらったアドバイスを生かしてもっと良い学習にしたい」という思いの高まりを感じた。

4 課題や今後の展望

○3年生という発達段階では、地域の方の思いを推し量ることは難しく、学習に協力してくださった方のお考えや思いにまで触れることができなかった。

○地域の方からは、「1年間を通して、課題について、子どもと一緒に考えることができた」と感想をいただいた。地域の方に学習に関わっていただく際に、一方的に協力していただくのではなく、地域の方にとっても利点のある学習活動を計画することで、win-winの関係でありたいと考えている。



ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|---|--------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立三階小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 4 | 総合 | 石州和紙について調べよう | 石州和紙会館 |
| ねらい | 石州和紙について調べたり，体験活動を行ったり，発信したりすることを通して，地域の産業について理解するとともに，その素晴らしさに誇りをもつことができる。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 石州和紙について，パンフレットやタブレットを活用して調べる学習をし，そのよさについて知る。 石州和紙の紙すき体験をする。 調べたことや体験したこと，石州和紙のよさについてパワーポイントでまとめ，3年生に発信する。 自分が作ったはがきを使って，未来の自分に手紙を書く。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にある石州和紙会館の協力を得て体験的な活動を取り入れることで，ふるさとの産業に対する関心を高めることができるように考えた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会科の学習の中で，浜田市には古い歴史を持つ石州和紙会館があることを知らせ，パンフレットやタブレットでホームページを検索するなどの調べ学習を行い，情報を活用する力をつけたいと考えた。また，調べたことを下級生（3年生）に伝えようというゴールを設定することで，主体的に調査や活動ができるように考えた。 | | | |
| <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石州和紙の歴史やその品質の良さを調べることにより，石州和紙の素晴らしさを知り，誇りを持つ姿が見られた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石州和紙の素晴らしさを下級生（3年生）に分かりやすく伝えるために，グループで相談しながら情報を整理してまとめ，主体的に資料作り（パワーポイント）をする様子が見られた。 | | | |
| <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の教育資源である（ひと・もの・こと）をリストアップしたり，効果的に活用する方法を考えたりして，児童のよりよい学びにつながるように考えていく必要がある。 | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|---|-----------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立雲城小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる单元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 5 | 総合的な学習 の時間 | 小国田んぼの米作り | おぐにまちづくりセンター てごの会 |
| ねらい | 金城の良さや、そこに住む人々のふるさとに対する思いにふれ、自分達に何ができるのかを考える。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>金城町小国地域はおいしいお米が収穫できる地域として知られている。また、学校の統合により旧小国小学校区の児童は雲城小学校に通学をしている。学校がなくなった地域の方々が、子どもたちとの活動を楽しみにしておられること、小国で田植えや稲刈りなどの体験を地域の方々と一緒にすることで地域の方の思いを知ることができること。さらに、小国のお米がおいしい秘密をさぐることも「ふるさとのよさ」を実感できると考えている。また、ふるさとの宝として、小国のお米の良さをPRしたり、活かそうとしたりする活動を通して、地域貢献の意識を高めることにもつながると考え、本活動を設定している。子ども達にもその思いを伝え、金城町の自然の豊かさや人々の心の温かさ、自分達に何ができるかを学んでいく学習を年間通して実施した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>金城町の自然の豊かさや人々の心の温かさ、故郷に対する人々の愛情を感じることで、自分達に何ができるかを学ぶために活用した。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>「米」という身近な題材を取り上げることで「調べてみたい」「もっと知りたい」という、主体的に学習に取り組む意欲を高めた。また、調べ学習の際には、一人一台端末を活用することで、体験活動を通しての気づきや疑問を個の興味・関心に応じて調べたり、低学年にプレゼンテーションしたりすることができた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>地域の自慢としてお米を大切に育てておられる地域の方の思いを感じ、ふるさとのよさとして自分の言葉や表現方法でPRをすることができた。また、小国地域でとれたお米のよさや、お世話になった地域の方に対する感謝の気持ちを学習発表会で発表したり、校内での販売や全学年へのおにぎり配付で小国米のおいしさを伝えたりすることができた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>社会科との合科的な学習により、課題発見力や情報収集・活用能力、プレゼンテーションによる表現力、体験活動や話し合いによるコミュニケーション能力が身についた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>コロナ禍という状況で難しい点もあるが、年間計画に基づいた継続的な活動を行っていく。</p> | | | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>田植えの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>稲刈りの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>米の袋詰めの様子</p> </div> </div> | | | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|---|----------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立今福小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 2 | 生活 | ふるさとの味「ほし大根」作り | 美又まちづくりセンター 地域講師 |
| ねらい | 自分たちが住んでいる地域に伝わる伝統的な食文化に触れ、地域の 人と活動を共にし、ふるさとへの愛着と誇りを高める。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>(1) 地域に伝わる独特な「ほし大根」があることを知る。 (2) 美又まちづくりセンターで体験活動をする。 ①大根を抜く、洗う、皮をはぐ、切る。 ②大根に穴をあける、わらをそぐ、わらを通す。 (3) 学校に帰って自分たちでもやってみる。大根をほす。 (4) ほし上がった「ほし大根」を調理して味わう。 (5) 「ほし大根」を家に持ち帰る。地域の方に配る。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ○ふるさとの味「ほし大根」を地域の方に習いながら作り、それを味わったり家族に教えたりするとともに、地域の方にも広げようとする。 (学力育成の視点から) ○目的やねらいを明確にし、それぞれの体験学習における技能や思考力の向上、地域講師とのコミュニケーション力の向上、まとめの創作物やお礼の手紙など他教科との関連も図った。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ○大根を掘る作業から始まって、運ぶ、洗う、切る、つるす、ほすなど、一連の作業を経て、ふるさとの味を堪能したことによって、地域につながる食文化を理解するとともに、それを継承していこうとする関心意欲が高まった。 (学力育成の視点から) ○低学年の生活科の目標である「身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する。」という視点から、地域の「ひと、もの、こと」への理解や関心が高まり、地域や家庭に深く関わろうとする意欲が高まった。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○ほし大根作りは、3年前に本校で実践された「美又の妖怪カルタ作り」からつながっている。地域に伝わる民話や慣習などの伝統文化の継承を意識した取組である。今年度は、2年生の生活科の取組として、体験活動と地域住民との交流に重点を置いたが、中学年や高学年の社会科や総合的な学習の時間に発展する題材である。 ○児童が地域のまちづくりセンターに出向いて、生産的な体験活動を行い、その後、地域の方を学校に招いて消費的な活動を行った。学校と地域が双方向的な活動を行うことによって、地域学校協働活動の視点からも意義ある取組として、今後も地域との連携を深めていきたい。</p> | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|---|--------------------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立波佐小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 全校 | 生活科 特別活動 <small>総合的な学習の時間</small> | 新米を食べよう ～田植えからしめ飾りまで～ | 地域・学校田・米作り（炊飯等） |
| ねらい | 自然の恵みを感じると共に、地域の方々に支えられて活動ができているという感謝の気持ちや波佐のよさを認識し、地域を愛し誇りをもてる子どもを育てる。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>田植えから稲刈り、精米・炊飯活動、しめ飾り、とんど祭り（コロナ禍のため行事縮小）まで一連の流れを体験することで自然の恩恵と地域の特色、地域の方々の温かい心を知ることができた。田植えや稲刈り、新米を食べる会やしめ飾りでは、波佐小学校の伝統を受け継ぎ上学年が下学年にやり方を教えている。</p> <p>今年度の新米を食べる会では、新米を羽釜で炊き、サンマを炭火で焼いた。さらに、高学年は豚汁づくり、低学年は高学年に教えてもらいながら、ラップおにぎり作りに取り組んだ。</p> <p>また、お世話になった地域の方や保護者へ新米を贈り、喜んでいただくことで、来年度への活動の意欲づけとしている。さらに、来年度は、福祉教育の取組も視野に入れ、育てた米を社会福祉協議会へ提供することも考えている。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひと → 地域の方々、波佐保育園、波佐まちづくりセンター ・もの → 学校田（学校の横にある個人所有の田んぼを借りている） ・こと → 米作り（田植え、稲刈り、新米を食べる会、稲のそぐり、しめ飾り） <p style="text-align: right;">連携 愛着 交流</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>高学年は、これまでの積み上げがあるので、米作りからしめ飾りまでの流れが理解できており、地域の方に教えていただいたことと自身の経験を含めて、他の学年に活動のコツを伝えることができる。分かりやすく伝えるためには言葉によるものと動きによるものがある。低学年には、できるようになるまで、待つ姿勢も大切になってくる。どうしてもできない時には、手助けをしたり、地域の方をお願い（交渉）をしたりする場合もある。地域の方の手ほどきを受けながら、尊敬や感謝の気持ちが醸成できると考える。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>地域の方々への感謝の気持ちを言葉にして伝えることができ、これらの活動を大切に思い、これからも続けていきたいという気持ちをもつことができた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>これらの活動を、毎年全校活動として取り組むことは自身の成長を感じることができ、自尊感情を高めることにもつながっている。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>田植えからしめ飾りまで年間を通して、たくさんの方にお世話になっている。そのことを教職員が児童に伝え、時には大変な活動にも関わらせることが大切だと考える。</p> | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|--|---|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立旭小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる单元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 5 | 総合的な学習 の時間 | 米作り体験 | 今市まちづくりセンター 米作り |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・米作りの体験をしたり、話を聞いたりすることを通して米のつくり方についての理解を深めて、調べてみたい自分の課題を見つける。 ・農作業を通して協力する心や生命を育てる難しさや喜び、勤労の尊さを実感することができる。 ・地域の方と同じ作業をし、交流することでふるさとを愛する気持ちを持つ。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>4月：育苗センター見学、代かき</p> <p>5月：田植え</p> <p>7月：坂本地区棚田見学、農事法人「さかもとのもと」 河野さんのお話</p> <p>9月：育成調査</p> <p>10月：稲刈りを体験したり話を聞いたりする、JAの方からバケツ稲についてのお話米作り体験を通して、米作りの大変さや収穫の喜びを感じるとともに、旭地区の特別米「坂本米」についてインターネットや生産者の方のお話を聞き、調べ学習を行った。分かったことを新聞でまとめたり、学習成果発表会で発表したりした。</p> | | | |
| | |  | |
| <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活ではなかなか体験することができない、農作業を通して協力する心や生命を育てる難しさや喜び、勤労の尊さを実感することができるようにした。 ・地域の方と同じ作業をし、交流することでふるさとを愛する気持ちを持てるように、まちづくりセンターと連携をして、JAの方や田んぼの地権者の方とふれあうことができるようにした。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りの体験をしたり、話を聞いたりすることを通して米のつくり方についての理解を深め、調べてみたい自分の課題を見つけ、調べることができるようにした。 | | | |
| | |  | |
| <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と協力して稲刈りや田植えなどの作業をすることで、交流することの楽しさや米作りをしておられる方の努力にふれ、改めて地域のよさを発信していこうとする意欲を持った。 ・地域の米作りをしている方から、米作りに関する知識や専門的な話を聞くことを通して、米作りのことについてより深く知ることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本米について、1人1人が課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に調べることができている。 ・思考ツールを活用し、坂本米を誰にどんな風にPRしていくか話し合ったり、どんなポイントをPRしていきたいか話し合ったりして絞り込むことができた。また、PRしたいポイントをCMにまとめた。 | | | |
| <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの活動のねらいをはっきりさせ、事前指導で目的意識を持たせたい。 ・毎年5年生が同じ活動を行うので、学習展開を工夫していく必要がある。 | | | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|---|--------------|------------------------------|
| 学校名 | 浜田市立弥栄小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1～2年 | 生活科 | もっと秋をさがしにいこう | まちづくりセンタースタッフ、 地域の自然、野外散策 |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域に出かけ、秋の植物や生き物に興味・関心をもつ。 ・季節の変化を感じながら、地域の良さに気付く。 ・身近な地域の方との関わりを深める。 | | |
| 1 取組の概要 | <p>①はじめの会（昇降口前） 「学習のめあて等確認」</p> <p>②秋をさがしにいこう（地域・弥畝山周辺）「野外散策」 「まちづくりセンタースタッフ等に秋の植物・生物についての話を聞きながら散策をする」</p> <p>③おわりの会（昇降口前） 「感想発表・おわりのあいさつ」</p> <p>⑤ふりかえり用紙記入（教室） 「学級でのふりかえり、ふりかえり用紙の記入」</p> | | |
| 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 | <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p>地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用することを通して、郷土の一員としての自覚を高め、郷土を愛する気持ちを育むとともに、自己の生き方を考える基盤を養うための教育活動に取り組んだ。</p> <p>（学力育成の視点から）</p> <p>学校周辺の秋の植物・生物をまちづくりセンタースタッフの方に説明していただきながら一緒に散策をすることで、子どもたちが地域に対する愛情や誇りを育む貴重な機会となった。山で見つけた木の実や落ち葉を持ち帰り、図工の教材（材料）として作品作成に活かすことで、身近な動植物に対する一層の興味関心をもつ有意義な学習となった。</p> | | |
| 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） | <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p>弥栄のひと・もの・ことに進んで関わり、そのよさに気づく体験をまちづくりセンターの方と共有することで、地域の人に対する親しみや感謝の気持ちをもった。また、地域の自然について、もっと知りたいという意欲をもった。</p> <p>（学力育成の視点から）</p> <p>この活動を通して、季節の変化や地域の良さに気付くことができた。こうした気付きを思考そして実践へと移行させていくような実践を積み重ねたい。1年生児童はこのような感想を書いた。 「きょう、いろいろななまえをたくさんおしえてもらえて、うれしかったです。また、なまえをおしえてください。 『これは、たべられるよ。これは、たべられないよ』とおしえてもらえて、うれしかったです。どんぐりがひろえ、うれしかったです。また見つけてふくろの中をぱんぱんにしたいです。まつぼっくりもひろいたいです。 また、おかもとさんたちのはなしをきいて、いろいろなはっぱを見つきたいです。おはなもとれて、うれしかったです。」</p> | | |
| 4 課題や今後の展望 | <p>弥栄中学校校区の本校では、「信頼し合い、助け合い、思いやりの心をもった『弥栄』を愛する子」および「主体的に関わり、学んだことを自己表現できる子」を理想の子ども像として実践を重ねている。子どもにとって有意義で価値ある本事例のような実践をこれからも継続することを課題と考えている。</p> | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|-----|-----------|--|--------------------------|
| 学校名 | 浜田市立三隅小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる单元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 4 | 社会科 | 地域の伝統・文化と先人たち | 浜田商業高校郷土芸能部 岡崎社中(三隅町) |
| ねらい | | 地域で活動しておられる神楽社中や高校生の方から話を聞いたり、衣装や道具の体験をしたりしながら石見神楽に親しむと共に、郷土の伝統・文化について理解し、大切にしていこうとする気持ちを育む。 | |

1 取組の概要

浜田市の伝統・文化「石見神楽」の体験学習として、三隅町出身の生徒が所属している浜田商業高校郷土芸能部の来校が実現した。岡崎小学校との交流学习も兼ねて神楽鑑賞と衣装・道具・奏楽の体験活動を行った。

その後、「道具を作りたい」という児童の希望で、地元の岡崎社中さんの指導を受け「御幣作り」を行った。



2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

自分たちの先輩が高校の部活動で石見神楽を継承し、県内外を舞台に活躍していることを知ること、憧れや尊敬の気持ちを抱くと共に、より身近に神楽を感じてほしいと考えた。また、地元社中の方の石見神楽に対する思いを知ること、ふるさとに対する愛着を深めたいと考えた。

(学力育成の視点から)

タブレットを使った調べ学習を取り入れ、体験をより充実したものにし、自分たちでできそうなことを考えたりするきっかけにしたいと考えた。



3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

神楽舞を身近に観た子ども達は、その迫力と舞や奏楽の素晴らしさに感動していた。また、高校生が郷土芸能の担い手として活躍している姿や、自分の考えを堂々と語る姿、やさしく教える姿を通して、自分たちも大きくなったらそういう高校生や大人になりたいという思いをもつことができ、キャリア教育としてもよい体験になった。神楽社中は町内各所にあることから、自分達が住んでいる地域の神楽社中に関心をもつきっかけにもなった。



(学力育成の視点から)

タブレットを使って石見神楽の歴史や意味、県内の出雲神楽・隠岐神楽との違い、演目の種類、石州和紙を使った道具などについて調べ、ノートにまとめていった。また、調べて分からなかったことについては2回の体験活動の際に質問をし、深めることができた。

4 課題や今後の展望

コロナ禍で石見神楽を見る機会が減少している中、子ども達の喜びは想像以上に大きかった。高校生にとってもよい機会となったようなので、来年度は日程調整をしながら全校で石見神楽を鑑賞する機会を設け、その後、4年生の体験活動を計画していきたいと考える。

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|---|---|----------|--------------------------|
| 学校名 | 浜田市立岡見小学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる单元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 2 | 生活科 | とびだせまちへ | 地域の方 わくわくマーケット (元 JA) |
| ねらい | ○自分たちの地域の人や場所、自然に関心を持ち、ふれ合うことを通して、そのよさを知り、積極的に関わっていこうとする態度を育てる。 ○地域の多くの人と積極的に関わり合う活動や繰り返し地域を訪れる活動を通して、身近な地域に愛着をもつ。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>2年生では、地域のよさを知り、積極的に関わっていこうとする態度を育てるために、校区にある特色のある場所・自然等を題材にして学習を進めている。その一つとして、わくわくマーケット (元 JA:地域に唯一あったスーパーマーケット跡地を活用し、地域のまちづくり推進委員会で企画された週1回開かれる自治組織直営の店) を取り上げ、以下のような学習を行った。</p> <p><1回目> 11月16日(水)</p> <p>【知る・体験する】「わくわくマーケットで、買い物体験とインタビュー活動をする。」</p> <p><自分たちで考える></p> <p>【考える】「わくわくマーケットに関することで、自分たちにできることはないかを考える」</p> <p>⇨盛り上げる取組を考えよう</p> <p><2回目> 12月 7日(水)</p> <p>【学びを還す・生かす】「わくわくマーケットを盛り上げる取組を実践する」</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとの人々の温かさに気づき、ふるさとへの愛着をもてるようにするために、地域の方が地元の高齢者のために始めたマーケットへの思いを知る場面を設定した。 自分たちにできることを考え行動すること(ふるさとへの貢献)への意欲化につながるように、まずは見学や体験を取り入れた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちでできることを考え、実践することは、答えのない課題に向かう、主体的な学習につながる。 <p>3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分達にも何かできないか考え、マーケットを盛り上げる取組として、お客さんにわくわくマーケットの事を知ってもらうためのクイズを出したり、楽しんでもらうための手作りの福笑いをしたり、ダンスや歌を披露したりした。地域の方と積極的に関わろうとする姿が見られた。(経験をもとにした主体的な行動) <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> すぐに売り切れた地元の野菜を買えなかった経験から、思いを巡らせ、購入しなかったお客さんが悲しまないような「楽しい売り切れ看板」を作製した。また、地域の方に喜んでもらえ、地域の一員として取り組めたことに達成感を感じた様子だった。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 週に一度しか開かれないマーケットなので、日程調整が難しかった。まちづくりセンターと連携し、内容や日程等相談しながら取り組んで行くとい。 | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|-------------------------------|--------------------------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立第一中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1 | 総合的な学習 | 小学生との交流を深めよう ～放課後遊び隊～ | 浜田一中校区 地域コーディネーター |
| ねらい | 小学生との交流を通して、地域のジュニアリーダー育成を図る。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 各クラスの中でいくつかのグループに分かれて、地域のジュニアリーダーとしての課題を設定し、小学校低学年を対象に様々な遊びを準備し、校区内の小学校へ訪問して各活動を行った。 また、グループごとの振り返りと各学級での意見交換を行った。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土愛や向上心の力を身に着けるために、各グループが計画した遊びの内容に対して、校区の地域コーディネーターから小学校低学年に対する理解や配慮についてアドバイスをいただき、説明の仕方など細かい部分まで修正し、活動当日にむけて準備することができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年に対して、それぞれの遊びのルールを説明するにあたって、各グループで説明に必要な原稿やイラストを作成し、説明の練習を行った。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生との遊びを通して交流することで、異年齢での交流でしか身につけることのできない、相手に対する理解や配慮を学ぶことができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年の児童が理解しやすい説明原稿やイラストを作成することで、情報を整理し説明を工夫する力を向上させることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校は学年4クラス編成で推移しており、1クラスずつ日程を変えて交流事業を行っているため、日程の調整が難しかったが、来年度は、放課後ではなく小学校の総合的な学習の時間に交流事業を行うこととなり、日程も年間行事の中に組み込むことができた。 | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|-----|-----------|--|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立第二中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1 | 総合 | 「私たちが住んでいる町 浜田を知ろう」 | 市役所職員・町づくりセンター |
| | ねらい | 浜田の魅力について各自で視点をもって学習を進めるとともに、講話を聴くことで、浜田の魅力や街づくりに携わる方の思いに気づき、浜田の魅力を発信できるようになる。 | |

1 取組の概要

- ・ 浜田市の魅力と課題を考え、グループで意見交流する。
- ・ 浜田市の魅力と課題から興味・関心のある内容を取り上げ、調べるテーマを決める。
- ・ 班のテーマからさらに自分が知りたい小テーマについて、文献、インターネットなどを利用して調べる。
- ・ 市役所の職員の方のお話を聞き、現在浜田市が行っている取り組みや浜田の魅力、課題について知る。
- ・ お話を聞いたり、調べたりしたことをもとに、浜田の魅力をまとめ、自分でも浜田の魅力について発信できるようにする。
- ・ 調べたり、考えたりしたことをグループごとにまとめ、発表する。
- ・ 単元全体を振り返って、振り返りシートを記入する。



- ### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。
- (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)
- 事前に「自然環境」「歴史文化」「観光」「食べ物」「産業」の視点で魅力と課題について意見を交流しながらゲストティーチャーへの質問項目を作成し、講話をもとに浜田の魅力と課題について考えられるようにする。



(学力育成の視点から)

浜田の魅力について調べたり考えたりしたことをレポートにまとめ、相手に伝えるように表現することを目指す。

3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身についたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

自分たちが知りたいテーマについてタブレットや文献を使用し、意欲的に調べ学習を行っていた。

(学力育成の視点から)

調べたり考えたりしたことについて、情報を取捨選択しながらレポート形式でまとめることができる。

4 課題や今後の展望

- ・ 調べたり考えたりしたことについて、校内外を通じ、生徒目線で発信していけるような活動を組み込むことで、より意欲的にふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲を高めることができると考える。

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|-----------|--|-----------------------------------|
| 学校名 | 浜田市立第三中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 3 | 総合 | SUN中トーク | まちづくりセンター（長浜・周布・大麻） 地域ボランティアの方 |
| ねらい | | 地域の方との交流を行い、地域の方とのつながりを深め、社会参加、地域参加の意識を高める。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>三中3年生2名、地域の方1名とで、それぞれ1分ずつテーマに沿って会話を進めていくという交流活動を行った。10のテーマについて、移動しながら多くの地域の方との交流を深めることができた。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と顔見知りになり、地域の中で声を掛け合ったりすることで、住んでいる地域で見守られているという安心感や地域の良さを知り、地域への愛着や誇りを持つとともに、ふるさとのために将来貢献しようという意欲を育てる。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と会話することを通して、コミュニケーション能力を向上させる。 ・テーマに沿った話題を提供するために、今まで学習した知識や経験したことを会話に生かす。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な背景を持つ地域の大人の方から、様々なテーマで話を聞き、物の見方や考え方を広げる経験は貴重な時間であった。「地域の方ともっと話したい」「あつという間に時間が過ぎた」といったような感想も聞かれた。中学生だけでなく、地域の大人の方も子どもを知ること、子どもの未来のためにもっと地域を良くしたいという思いが強まったという声も聞かれ、子どもも大人も双方にとって良い学びの場になった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は知らない方との会話に消極的であったが、話が進むにつれ、積極的に会話したり質問したり意欲的に関わろうとする姿が見られるようになった。 ・学習したことが会話の中に生かされたり、地域の方からさらに詳しい話を聞くことで、関心が強まり、学びへの意欲が向上する様子も見られた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一過性のイベントに終わらず、地域の方と継続的に関わる機会を増やし、地域のことに関心を持ち、地域の活動や行事に自主的に参加するなど地域のために行動できる生徒を育てていく必要がある。 | | | |
|  | |  | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|--|----------|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立第四中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1・2 年生 | 総合的な学習 | 福祉体験学習 | 石見福祉会の各施設、職員 |
| ねらい | 校区内に複数ある高齢者福祉施設を訪問して見学、体験を行うことにより、高齢者福祉について認識を深めるとともにふるさとの事業所を知り、キャリア教育の一環とする。 | | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>1、2年生が校区内の浜田福祉会施設を訪問して、見学や体験活動を行い、学習の成果を文化祭で発表する。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の高齢者福祉施設が連携して事業を展開していることは、校区の特色の一つであり、県西部でも有数の事業規模であることを見学、体験を通して学ぶ。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所職員の方、施設利用者の方との交流を通して、相手の状況に応じ、時と場を考えたコミュニケーション能力を身に付け、伝え合う力を高める。 ・働くことの意義や社会貢献、自己実現などについて考え、職業観、勤労観を育む。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区内にある施設が県西部でも大規模なものであり、施設を運営する法人の本部が学校のすぐ近くにあることを知って驚くとともに関心が高まった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方とどのように交流するかを職員の方から学ぶ中で、職業人としてのスキルの重要性や、TOPに応じたコミュニケーションの大切さを感じることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉を通じた地域貢献に対する意識の高まりが感じられたが、具体的な中学生としての行動を考え、実践するまでには至っていない。学び、感じたことを地域の中でどのように生かすかを今後考えさせたい。 | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| 学校名 | 浜田市立浜田東中学校 | | |
|--|------------|---|---|
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1 | 総合的な学習の時間 | 「ふるさと浜田の水産業」 | 浜田市内水産業関連事業所事業 (10事業所) 国府まちづくりセンター 浜田まちづくりセンター |
| ねらい | | ・浜田市内の職場見学ならびにインタビューを通して、水産資源に関係のある職業や働く人たちの思いについて理解を深める。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>市内（浜田漁港周辺）の水産業に関連する事業所を訪問し、浜田市の水産業の現状やそれぞれの事業所の考える課題などについて取材する。学習した内容は班で新聞形式にまとめ、学校行事に合わせて校内展示をする。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田市の主産業である水産業について取材し、「ふるさと浜田」に関する理解を深める。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材活動や班活動を通じて、コミュニケーション力を身につける。 ・職場見学で集めた情報を分かりやすくレイアウトしてまとめることで、効果的に情報を発信する力をはぐくむ。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで詳しく知ることのなかった浜田市の水産業の現状や課題について理解した。 ・浜田市の水産業を支えるさまざまな業種の事業所の存在を知ることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で協力しながら、職場見学で集めた情報を分かりやすくレイアウトして、新聞形式にまとめることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <p>この内容での取組は初めての試みだったが、まちづくりセンターや市内の事業所にご協力いただきながら、活動することができた。ただ、テーマや事業所の選定、連絡など教員側で準備しすぎた感じもあり、生徒たちの興味や主体性を育むという点においてはまだまだ検討の余地があると考えます。また、地域と連携して活動をする際には、学校と地域の成果の共有が図られるべきであるが、その点においても不十分な点も多く、計画の改善が必要である。</p> | | | |
| | |  <p>〈訪問先についての事前調査〉</p> | |
| | |  <p>〈職場訪問〉</p> | |
| | |  <p>〈職場訪問〉</p> | |
| | |  <p>〈新聞づくり〉</p> | |

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| 学校名 | 浜田市立金城中学校 | | |
|--|-----------|--|---|
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1 | 総合的な学習の時間 | 金城を元気にするプロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> ・雲城まちづくりセンター ・甚左衛門ウォーキング ・いわみケーブルビジョン |
| ねらい | | ・ふるさとの「ひと・もの・こと」と関わる中で、ふるさとを誇りに思い、ふるさとに対する愛着をもつ心豊かな生徒を育てる。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>中学生が地域を元気にする実践のひとつとして、甚左衛門ウォーキングに主催者側として協力し、継承していこうとする取組。当日までに、岡本甚左衛門の生きた時代について事前学習を行ったり、ウォーキングコースを実際に歩いてその場所についての説明を受けたりして、主催者側としての準備を進めた。特に、どのように伝えたら、甚左衛門の偉業がより分かりやすく伝わるかななどを考えながら、クイズやイラストを用いるなど工夫して担当ポイントの説明準備を行った。また、それ以外の事前準備(参加者へ渡す缶バッジの作成、石見ケーブルビジョンでの宣伝、しおりの作成、ポスター作製など)にも積極的に取り組み、当日はポイント説明、のぼり旗もち、カレーライス配布などで各々が役割を果たした。</p> | | | |
| <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金城のために力を尽くした岡本甚左衛門について知り、実際にゆかりの地を巡ることで、ふるさとへの愛着と誇りをもつことができるようにする。 ・まちづくりセンターの方々や地域の方々との交流を通して、生徒の地域貢献意欲を高める。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甚左衛門ウォーキングでの説明や多世代交流を通して、コミュニケーション力を高める。 ・岡本甚左衛門の苦労や功績、当時の人々の思いなどを参加者へ分かりやすく伝えるためにどうすればよいかを考え、工夫して発信する力を高める。 | | | |
| <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他にも何か自分たちにはできないことはないかとまちづくりセンターの方に尋ねたり、甚左衛門が生きた時代についてもっと詳しく知ったうえで参加者に説明したいと資料やインターネットでさらに深く調べたりするなど、地域貢献への意欲が高まった。 ・地域の方々の中学生に対する期待や中学生のことを大切に思っている気持ちをくみ取り、地域活性化の担い手としての自覚をもった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働し、課題解決に向け工夫して取り組む力が高まった。 ・積極的に地域活動に参画することができるようになった。 | | | |
| <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の願いを知る場面や機会をさらに設けること。 ・地域側と事業前の計画・事業後の振り返りを引き続きしっかりと行うこと。 ・PDCAサイクルを大切にふるさと教育を進めていくこと。 | | | |



【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|---------------|---|-------------------------------|
| 学校名 | 浜田市立旭中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1 | 総合的な学習 の時間 | 旭の再発見ツアー 旭の人にインタビューをしよう | 各地域まちづくりセンター 地域の生産者 旭分室 |
| ねらい | | 自らが課題を見いだすとともに、解決策について考え、提案し、自ら地域に関わろうとする | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>自分たちの住む旭町についてグループでブレインストーミングを行い、取り組みたい課題を考えて発表しあった。それらを学年として大きく「人口減少」「店などの施設がないこと」の2つにまとめた。これらの課題意識をもって「旭のいいところ再発見ツアー」に参加した後、班に分かれて校区内の5つの地域で旭の発展のために活動しておられる方々に、インタビューに出かけた。地域の魅力や課題、取組をインタビュー（右写真）することで、地域の現状理解を深めることができた。その内容や自分たちで考えた課題解決策などについて文化祭で発表するとともに、冊子にしたものを各まちづくりセンターに配付したり、地域行事で掲示したりした。</p>  <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旭の発展のために活動しておられる方々の取組、地域の魅力や課題についてインタビュー形式で調査活動することにより、現状理解を深め、今後ふるさとを大切にする気持ちを養うとともに、地域のために自分に何ができるか考え、行動しようとする態度を育てる。 （学力育成の視点から） ○実際に出向いて地域の方にインタビューすることで、コミュニケーション能力を向上させる。 ○自ら課題を見だし、その解決策を地域の方々に知ってもらうための情報発信能力を高める。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旭のまちに出かけ、地元で地域の発展のために活動しておられる方々にインタビューを実施したことで、旭の現状やその人の思いを知ることができ、旭町のよさとともに課題を見いだすことができた。そして、今後、自分たちにできることは何かを考えるきっかけとなった。また、地域の方々に大切にされていることを実感し、ふるさと旭を大切に、貢献していこうという思いが強くなってきたことを生徒の振り返りから感じ取ることができた。 （学力育成の視点から） ○個々の課題解決に向けて、他者と協力し工夫して取り組む力が高まった。また、地域の方々にインタビューすることを通して、知りたいことをたずねたり、言いたいことを伝えたりする技能が向上し、コミュニケーション能力が高まった。 ○自ら見出した課題について整理し、自分の思いをパワーポイントや冊子、掲示物でまとめ、文化祭で発表することで、情報発信能力を高めることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <p>今年度の活動を通して、旭町のよさとともに課題を理解し、解決策について自分の考えをもつことができた。今後も探究のサイクルを回し、学びを深めていきたい。</p> | | | |

ふるさと教育 取組事例




| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
|--|-------|---|---|
| 2 | 総合 | 弥栄の魅力発信 | 弥栄の自然、特産品、神楽社中、弥栄支所、杵束まちづくりセンター、安城まちづくりセンター |
| ねらい | | <p>○ 地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用することを通して、郷土の一員としての自覚を高め、郷土を愛する気持ちを育むとともに、自己の生き方を考える基盤を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を通して、故郷に愛着を持ち、すすんで地域社会に貢献しようとする態度を育てる。 ・地域社会の実態を知り、自分の考えをもち、発信する力を育てる。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生が「PR動画で弥栄の魅力を発信しよう」というテーマで取り組んだ。2つのまちづくりセンターにお世話になり、さらに地域の魅力を深掘りすることができた。地域の方にも授業に参加していただき、有効なPR動画にするための改善策を見つけるために意見交換をすることができた。 ・修学旅行では、弥栄出身で近畿在住の近畿弥栄会と交流し、PR動画の改善について意見交換をした。 ・動画配信により弥栄の魅力をしっかりと発信することができた。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(故郷への愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画で弥栄の魅力を発信するために、どんな魅力をどのような形で発信すればよいのか試行錯誤することとなった。そこで、地域の「ひと・もの・こと」と深く関わり、人々の温かい思いを理解していく中で、故郷の魅力を再認識し、故郷への愛着や誇りもつことができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰とでもコミュニケーションがとれる」「協力して課題を解決したり、より良いものを目指すことができる」「見通しを持ちながら準備を進めることができる」など、「弥栄の魅力発信」の活動を通して、地域の方々とは深く意見交換を繰り返し進めていく中で、これらの力を身につけさせたいと考えた。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(故郷への愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域やまちづくりセンターの方々も授業にも参加してくださり、積極的な意見交換をする中で、生徒は故郷の魅力を再発見するとともに、人々がつながりを持ち続けることの大切さに気付くことができた。また、地域の特産品や伝統文化のPR動画を発信するまでの過程で、生徒たちの故郷に対する思いを強固なものにすることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石見神楽や弥栄の自然、特産物について調べたことをもとに、PR動画を考え、地域の方々とは意見交換をしたことは、とても効果的であった。以前に比べ、誰とでもコミュニケーションがとれるようになった。協力して課題を解決したり、より良いものを目指したりできるようになってきた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター、外部講師との連携をとるための準備が必要 ・PR動画の宣伝活動を継続し、再生回数を増やして弥栄の魅力を伝えていきたい。 | | | |



PR動画QRコード

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|-------------|--|------------------------|
| 学校名 | 浜田市立三隅中学校 | | |
| 学年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 1 | 理科 (家庭科) | 動物の分類 (魚料理にチャレンジしよう) | 浜田水産振興課、「山源」 |
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> ・イカの解剖実験を行い、イカのからだのつくりやはたらきを学ぶ。 ・イカのさばき方について知り、地域の食材について再認識をする。 ・協力して安全に調理し、食材への感謝の気持ちをもつ。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イカの消化管や口、内臓について演示実験を見る。 ・山源の山口調理師の助言をもとに、イカを部位ごとにさばく。 ・イカ大根をつくり、実食する。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>理科の学習内容のなかにある「イカの解剖」について、ふるさと浜田で水揚げされる魚である「イカ」を使うことで、地域の産物に興味をもつことができる。さらに、プロの料理人から「イカ」の調理について学び美味しくいただくことで、ふるさと浜田への誇りをもつことができる。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>これだけ多くのイカを使った実験(料理)は、普通出来ない。一人に1杯のイカがあることでイカのからだの仕組みについてより興味をもって意欲的に深く学ぶことができる。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>調理人の包丁さばきを見て、驚いたり感激したりして、刺激を受けた。また、自分たちもふるさとの食材であるイカなどの魚をもっと調理して食べてみよう、意欲が上がった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>イカを触ったこともなく、ましてや調理をしたこともない生徒がほとんどであった。抵抗感をもつ生徒が何人もいたが、やっていくうちに慣れ、どんどん質問をして意欲的に活動を行っていた。実際に実物を見ることで、イカのからだの構造についても興味深く学んでいた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>浜田水産振興課のことは、同じ職場の職員から聞いて初めて知ったことで実行することができた。こういった情報が一覧表などであると、浜田市内の多くの生徒がさまざまな機会にふれあうことができる。今後も、この活動を続けていきたい。</p> | | | |
|    | | | |